

優秀賞

You can do it!

関西創価中学校 1年 平野 美由紀

「富士山に登ろうー!」

そう言い出したのは、母だった。

私は、小学三年生のとき、初めて富士山に登った。まだ、あまり体力もなく八合目で高山病になり、リタイアしてしまった。最後まで登りたかった私は、すごく悔しかった。

中学生になり、勉強にクラブに、と頑張っていたが、心身ともに疲れてしまい学校を休むようになった。そんなとき、母が私に提案してきたことが、リベンジ富士登山だった。急な提案にびっくりしたが、何かにチャレンジしたくなり、行くことに決めた。

夜が明けてまもなく家を出た。次の日、美味しい空気を吸いながら、五合目を出発した。天気もよく、見下ろすと、飲み込まれそうなほど広大な雲海が目に見えた。

岩場が増えてきた頃、雨風が強くなってきた。ふっ飛ばされないうようにロープを必死でつかみ、一步一步、進んだ。でも、やっぱり無理かと諦めそうになったとき、

「You can do it!」

登頂した外国人が、手でグットマークをしながら、すれ違いざまに声をかけてくれたのだ。その瞬間、かすかな希望とともに、勇気が湧いてきた。自分にもできる!と思えた。そこから、親子で励まし合って進み続け、最後の岩場に差し掛かった。もう、足だつて上がらないはずなのに少しずつ登り、十三時間かけて登頂した。私の中から達成感が湧き上がってきた。できないと思っていたことが、できたということがすごく嬉しかった。

私の願いは、自分の決めたことを、やりきれぬ人になること。そして、今、何かにチャレンジしようとしている人が諦めずに達成できるように応援したい。

今、私は、元気に学校に通っている。時々しんどくなってしまうこともあるが、その度にあの言葉を思い出す。そして、私も誰かに言える自分になってみせる!

「You can do it!」 -w-